

ネットリサーチDIMSDRIVE
第313回公開調査
「2013年 夏ボーナスに関するアンケート」

2013年7月19日
インターワイヤード株式会社

インターワイヤード株式会社が運営するネットリサーチのDIMSDRIVEでは、「ボーナス」についてアンケートを行い、昨年との比較、満足度、身近な景気などについてまとめました。

調査は2013年6月21日（金）～6月27日（木）にかけて実施し、DIMSDRIVEモニター7,822人から回答を得ています。

調査結果の詳細

<http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2013/130719/>

調査概要

調査方法	インターネットを利用したアンケート調査				
調査期間	2013年6月21日～6月27日				
調査対象者	DIMSDRIVEモニター 7,822人				

性別	N	%	配偶者	N	%
男性	4629	59.2	いる	5115	65.4
女性	3193	40.8	いない	2707	34.6

年代	N	%	従業員数	N	%
20代以下	368	4.7	～10人	405	15.1
30代	1328	17.0	～100人	755	28.1
40代	2436	31.1	～300人	351	13.0
50代	2111	27.0	～500人	161	6.0
60代以上	1579	20.2	～1,000人	215	8.0
			1,001人以上	768	28.5
			わからない	36	1.3

↑ 経営者・役員・正社員のみ回答

職業	N	%
経営者	143	1.8
会社役員	126	1.6
会社員(正社員)	2422	30.9
契約社員・派遣社員	491	6.3
公務員	290	3.7
自営業	652	8.3
自由業	234	3.0
パート・アルバイト	888	11.4
専業主婦(主夫)	1261	16.1
学生	68	0.9
定年退職	468	6.0
無職	673	8.6
その他	106	1.4

CONTENTS

- 中小企業の1割が、「制度はあるが今年はボーナス無し」
- ボーナス額は「増えた！」18.5%、「減った…」26.4%
- 今年の夏ボーナスに満足した人は32.1%
- ボーナス額に、「アベノミクス」の恩恵は... 7割が「感じない」
- アベノミクス効果！？ 投資への意向がやや強まる
- 既婚者の約4割が、ボーナスで「自由に使えるお金はない」
- 主婦業にボーナスが出るとしたら「5～10万円」、年代が高いほど価格帯も高く
- 「景気が悪くなっている」印象はやや薄まる
- 円安の影響は？『良い影響』6.2%、『悪い影響』22.8%

調査項目

- ・2013年夏ボーナスの状況(有無、昨年からの増減、満足度)
- ・2013年夏ボーナスの使い道
- ・専業主婦のボーナス額(自己評価)
- ・アベノミクスとボーナス(ボーナス額への恩恵有無)
- ・身近に感じる景気感(昨年比較)

中小企業の1割が、「制度はあるが今年はボーナス無し」

■夏のボーナスは出た？

回答者“ご自身”に2013年の夏ボーナスが出たかどうかについて尋ねた。

3年前(2010年)・2年前(2011年)・今年(2013年)の結果を比較してみると、『出る・出た』の回答は年ごとに減少し、今年は30.6%であった。既に「出た」人は、11年に比べて半減している。また、2010年以降で最も値が低く1割以下であった。

※2012年は調査を行っておりません。2011年・2010年の調査期間は7月上旬でほぼ今回と同じ時期です。

<職業別>(会社役員・会社員(正社員)・契約・派遣社員・公務員について)

会社役員、会社員(正社員)、契約・派遣社員、公務員について見てみると、

【公務員】は93.8%が『出る・出た』と回答したのに対し、【正社員】では72.2%となっている。

また、【会社役員】の6.3%、【会社員(正社員)】の7.2%が「ボーナス制度はあるが、今夏は出ない」と回答した。

<従業員数別>

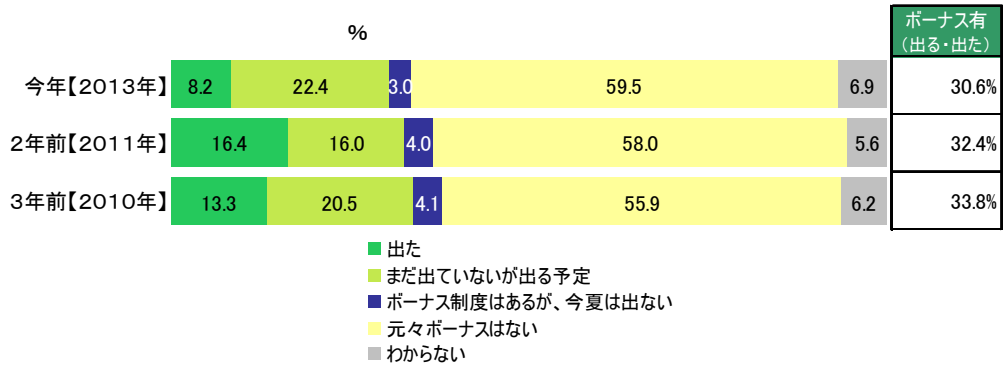
経営者・会社役員・会社員(正社員)の人について、会社の従業員数別に見てみると、

従業員数が多くなるほど『出る・出た』人の割合は高くなっている。

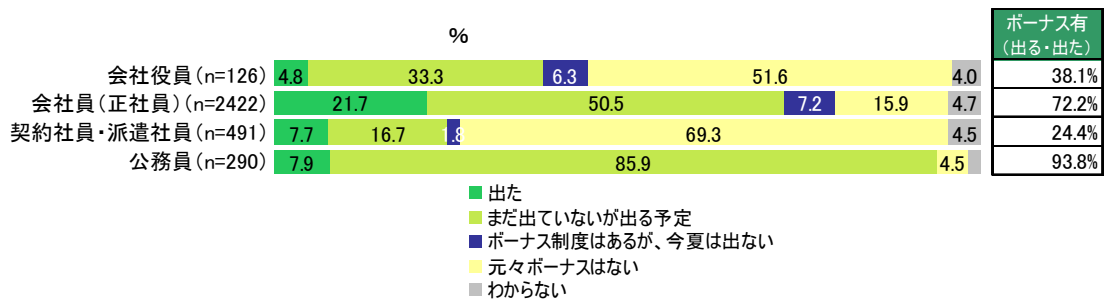
【1,001人以上】では89.6%と約9割だったのに対し、【11~100人】では56.1%と半数強、【10人以下】の企業では25.4%と3割以下であった。

また、【100人以下】の企業の9.9%、【10人以下】の企業の11.9%が、「ボーナス制度はあるが、今夏は出ない」と回答しており、100人以下の中小企業の1割が『ボーナスが出ない』状況である。大企業ほどこの値は少ない傾向にある。

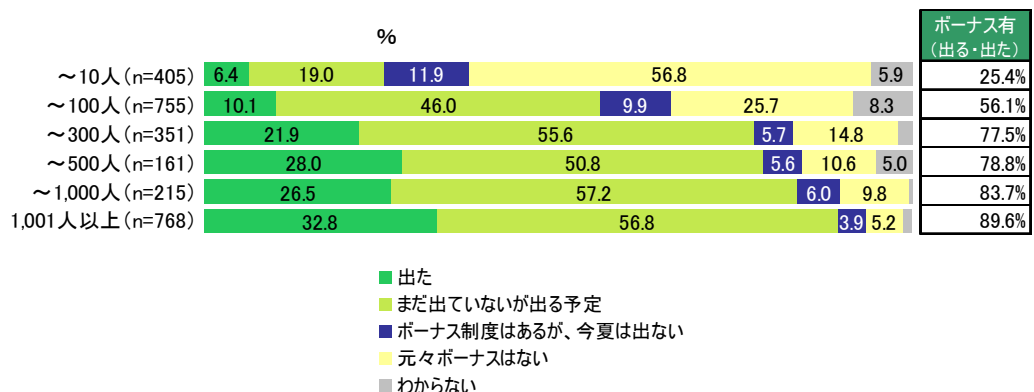
回答者: 全員 N=7822
あなたご自身に今年、夏のボーナスは出ましたか。(単一回答)



◆職業別(会社役員・正社員・契約・派遣社員・公務員について)



◆勤めている会社の従業員人数別(職業が経営者・会社役員・会社員(正社員)の人)



ボーナス額は「増えた！」18.5%、「減った…」26.4%

■基本給の何か月分？

ボーナスが既に出た人の“今回のボーナス額”については、「(1.5ヶ月)～2ヶ月分」が最も多く25.1%、次いで「(2ヵ月)～2.5ヶ月分」19.4%と続いた。2年前(2011年)と比較して、大きな変化は見られなかった。

■昨年と比較しての増減

昨年の夏ボーナス額からの“増減”を尋ねたところ、「増えた」人は18.5%だったのに対し、26.4%が「減った」と回答した。「増えた」人は2年前の2011年より、1.4ポイント微増した。「減った」人は、3.9ポイント減少した。今年(2013年)では「同じくらい」が50.0%と最も多かった。

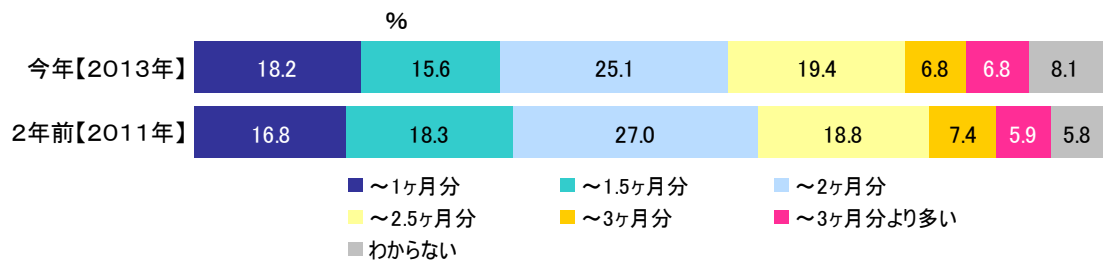
昨年の夏ボーナス額からの“増減”を尋ねたところ、「増えた」人は18.5%だったのに対し、26.4%が「減った」と回答した。

東日本大震災があった2011年の調査では3割が「減った」と回答しており、やや震災の影響があったと思われるが、今年については、『減った人』の割合は少なくなった事が伺える。

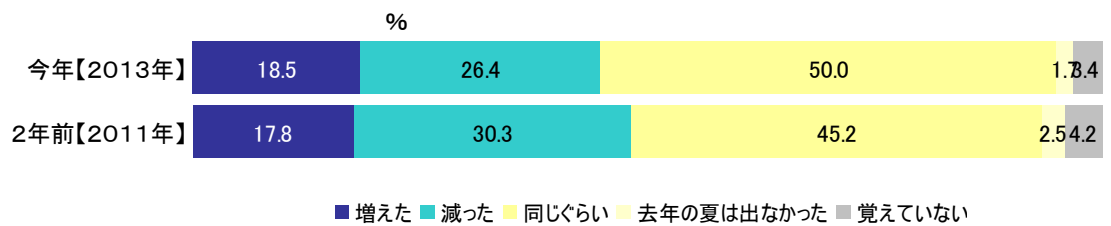
この数年の調査では、毎回「増えた」よりも「減った」人の割合が多く、ボーナスがどんどん貰えなくなっていることも、伺える。弊社調査で「減った」の割合が最も大きかったのは、リーマンショックの翌年：2009年調査で、「増えた」10.2%に対し、「減った」52.9%である。

回答者：ご自身にボーナスが出た人 N=643

今回のボーナスの金額は、基本給の何か月分でしたか。(単一回答)



今年の夏のボーナスは、去年の夏のボーナスと比べて金額はどうでしたか。(単一回答)



今年の夏ボーナスに満足した人は32.1%

■ボーナスの満足度

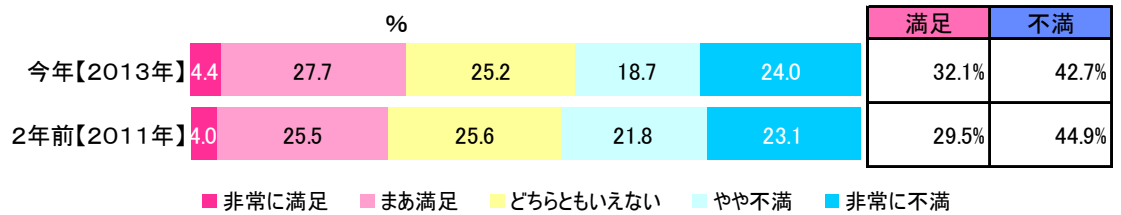
夏ボーナス額の“満足度”については、「非常に満足」4.4%、「まあ満足」27.7%で、『満足』した人の割合は32.1%と3割以上である。対して、“不満度”については「やや不満」18.7%、「非常に不満」24%と、『不満』だった人の割合は42.7%と4割に上る。

2年前の調査と比べると、『満足』だった人は2.6ポイント増加し、『不満』だった人は、42.7%から2.2ポイント減少している。

回答者:ご自身にボーナスが出た人

N=643

今回のボーナスの金額の満足度はいかがですか。(単一回答)



ボーナス額に、「アベノミクス」の恩恵は… 7割が「感じない」

■「アベノミクス」の影響

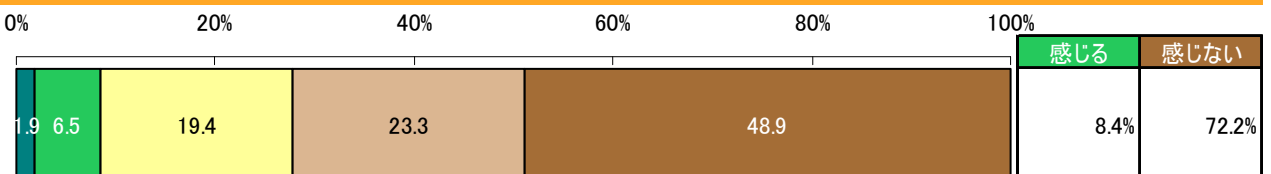
今回のボーナス額の“アベノミクスの影響”については、「非常に感じる」1.9%、「やや感じる」6.5%で、『感じる』人の割合は8.4%と1割未満であった。対して、「あまり感じない」23.3%、「全く感じない」48.9%と、『感じない』人の割合は72.2%と7割以上にのぼった。

『アベノミクスの恩恵』がボーナスに反映された人は、少ないようである。

回答者:ご自身にボーナスが出た人

N=643

今回のボーナス額について、「アベノミクス」の影響をどの程度感じますか。(単一回答)



■ 非常に感じる ■ やや感じる □ どちらともいえない □ あまり感じない ■ 全く感じない

アベノミクス効果！？ 投資への意向がやや強まる

■ ボーナスの使い道

ボーナスが『出る・出た』人に“使い道”を尋ねたところ、最も多かったのは「貯金」で43.2%であった。次いで「生活費にあてる」23.4%、「ローンや借金の返済」23.2%、「国内旅行」16.6%、「買い物」14%と続き、『楽しむ』よりは『生活』に充てる人が多いことが伺える。

<2年前(2011年)との比較>

2年前の回答と比較すると、「貯金」は44.5%→43.2%と1.3ポイント減少している。

「生活費にあてる」は26%→23.4%と2.6ポイント減少している。

「投資・運用など」は、8.2%→8.8%と0.6ポイントだが唯一増加している。それ以外の項目全てについて、減少している。

「アベノミクス」など政府の対策により、投資への意向が強まったのだろうか。

■ 買い物の中身は・・・

「買い物」と回答した人に、ボーナスで買ったもの、買う予定の物を自由回答で尋ねた。

最も多かったのは、「服」の88票、次いで「PC本体」45票、「靴」22票、「エアコン」「カバン」それぞれ17票と続いた。

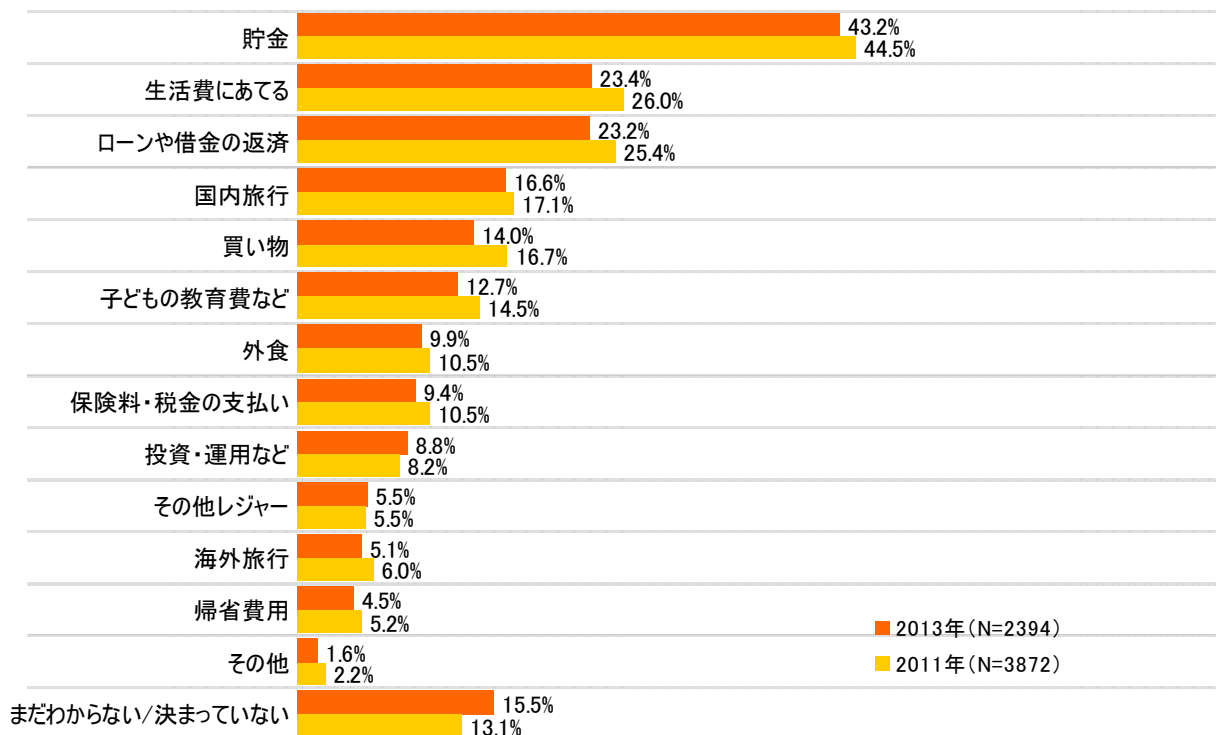
<男女別>

男性の1位は「PC本体」、女性の1位は「服」であった。

回答者：ボーナスが出た人・出る予定の人

N=2394

今年の夏のボーナスの使い道を教えてください。(複数回答)



回答者：ボーナスの使い道を「買い物」と回答した人

N=336

今回のボーナスで(ボーナスを当てに)買ったもの/買う予定のものを3つまで教えてください。(自由回答)

<全体>

順位	ボーナスで買いたい/買ったもの	票
1	服	88
2	P C 本体	45
3	靴	22
4	エアコン	17
4	カバン	17
6	スーツ・Yシャツ	14
6	家具	14
6	冷蔵庫	14
9	C D・D V D・ブルーレイディスク	13
9	車本体	13

<男性>

順位	ボーナスで買いたい/買ったもの	票
1	P C 本体	33
2	服	22
3	スーツ・Yシャツ	12
4	エアコン	11
5	C D・D V D・ブルーレイディスク	9
5	カー用品	9
7	靴	8
7	冷蔵庫	8
9	テレビ	7
9	車本体	7
9	電化製品・家電(指定なし)	7

<女性>

順位	ボーナスで買いたい/買ったもの	票
1	服	66
2	カバン	14
2	靴	14
4	P C 本体	12
5	アクセサリ	10
5	エステ・美容室など	10
5	化粧品	10
5	家具	10
9	エアコン	6
9	スマートフォン	6
9	メガネ・サングラス	6
9	時計・腕時計	6
9	車本体	6
9	冷蔵庫	6

既婚者の約4割が、ボーナスで「自由に使えるお金はない」

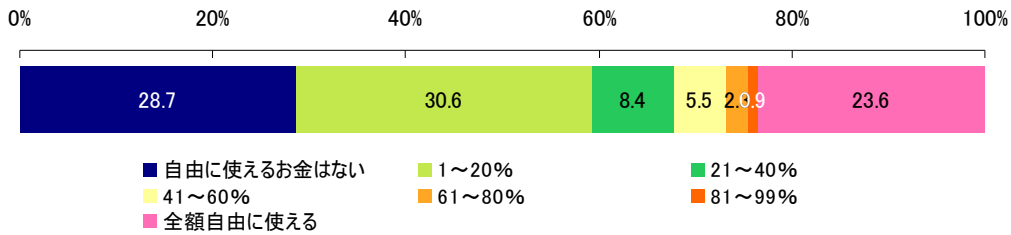
■ ボーナスを自由に使える額

ボーナスが『出る・出た』人に、“今回のボーナスのうち、自分が自由に使える割合”を尋ねたところ、「1～20%」が最も多く、30.6%であった。「全額自由に使える」と回答した人は23.6%、一方、「自由に使えるお金はない」という人は28.7%であった。

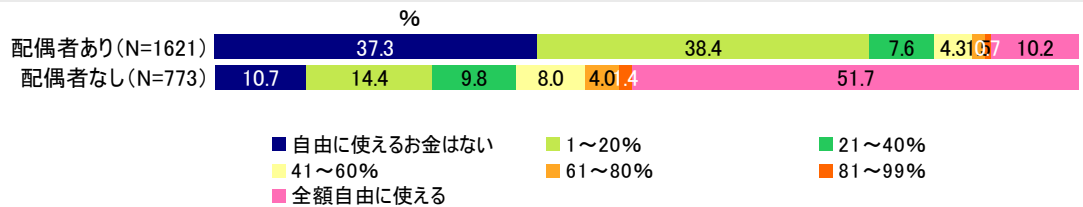
< 配偶者有無別 >

「全額自由に使える」は、配偶者がいる人10.2%、いない人51.7%と4割以上の差があった。「自由に使えるお金はない」は、いる人37.3%、いない人10.7%と3割近くの差があった。配偶者がいる人は、自由に使える金額が低くなる傾向にある。

回答者：ボーナスが出た人・出る予定の人 N=2394
今回のボーナスのうち、あなたが自由に使えるお金はどのくらいですか。(単一回答)



◆ 配偶者有無別



主婦業にボーナスが出るとしたら「5～10万円」、年代が高いほど価格帯も高く

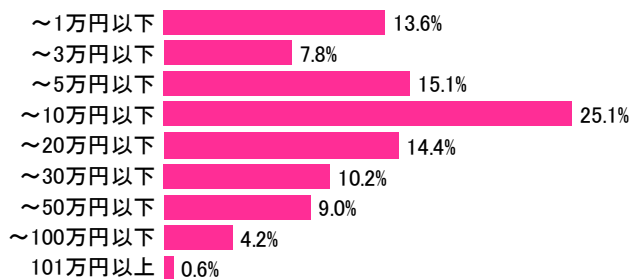
■ 専業主婦業にボーナスが出るとしたら・・・？

専業主婦の人に、“主婦業にボーナスが出るとしたら、自分の仕事ぶりでは幾ら貰えそうか”と尋ねたところ、最も多かった価格帯は「(5万)～10万円以下」の25.1%であった。次いで「(3)～5万円以下」15.1%、「(10万)～20万円以下」14.4%、と続いた。「1万円以下」という人は13.6%と1割だった。

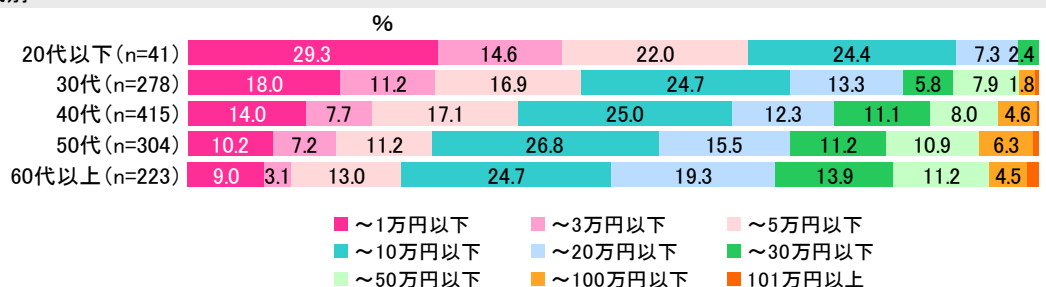
< 年代別 >

年代が高いほど、価格帯も高くなる傾向にある。

回答者：専業主婦(主夫) N=1261
もし、主婦(主夫)業にボーナスが出るとしたら、今の自分の仕事ぶりでは幾ら位もらえると思いますか。(数字自由回答)



◆ 年代別



「景気が悪くなっている」印象はやや薄まる

■昨年と比べた景気は

昨年の同時期と比べた“身近に感じる景気”については、『良くなっている』と回答した人は11.0%、『悪くなっている』と回答した人は29.2%である。1割が景気回復を感じる一方で、3割近くは悪化を感じているという結果である。

ただ、2013年も『回復した』と感じている人よりも『悪化した』と感じる人の方が多いが、過去の調査と比べると、『悪化』の割合は低い。

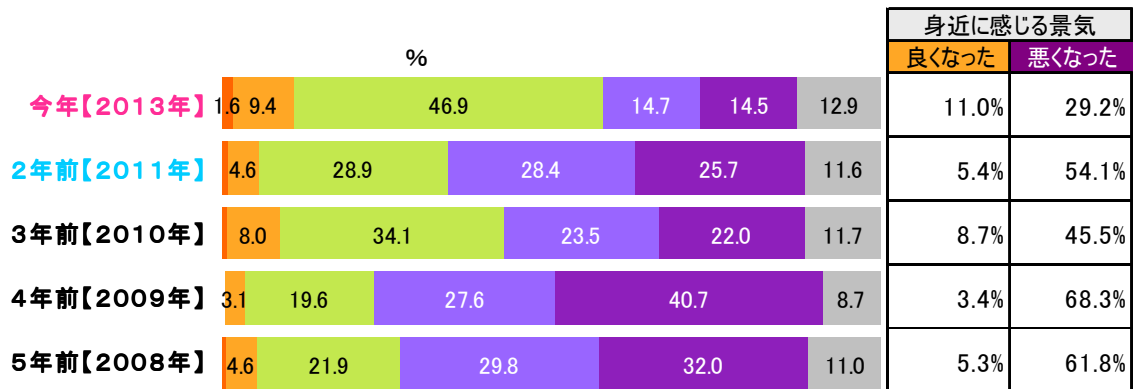
2009年は、2008年に起こったリーマンショックの影響か、『悪くなっている』が68.3%と7割近くに上った。2010年は、リーマンショックの影響はあまり見られなくなったが、「変わらない」が34.1%と前年(2009年)と比べ14.5ポイント増加し、景気が悪い状態が続いていることが伺える。2011年は、東日本大震災(2011年3月)の影響もあり、『悪くなっている』が増加し54.1%になった。

景気回復を実感する人は少ないものの、『悪くなっている』という印象はやや薄れてきたことが伺える結果となった。

回答者: 全員

N=7822

昨年の同じ時期と比べて、あなたご自身を含めた身近に感じる景気はいかがですか。(単一回答)



- (昨年の同じ時期と比べて) 良くなっている
- (昨年の同じ時期と比べて) 少し良くなっている
- (昨年の同じ時期と比べて) 変わらない
- (昨年の同じ時期と比べて) 少し悪くなっている
- (昨年の同じ時期と比べて) 悪くなっている
- わからない

<年代別(今年:2013年と2年前:2011年)の比較>

今年(2013年)は、『良くなっている』は、どの年代も1割前後であった。逆に『悪くなっている』は、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあった。『良くなっている』と最も感じているのは60代以上で12.0%、次いで50代11.8%と続いた。『悪くなっている』と最も感じているのは50代で32.4%、次いで60代以上32.2%と続いた。
50代・60代以上が、景気について、敏感に反応していることが分かる。

<2年前:2011年との比較>

2年前の『悪くなっている』の割合と比較すると、全ての年代において19~29ポイント程度の幅で大きく値が下がっている。それに伴い『良くなっている』の割合が、1~9ポイント増加している。

昨年と比べた景気は、相変わらず悪いと感じている人が多いが、2年前に比べ、良いと感じている人が増加傾向にあり、復調の兆しを感じている人もいる。

<職業別>

『良くなっている』と感じているのは、
【経営者】24.5%、【会社役員】19.1%、【自由業】15.4%であった。
『悪くなっている』と感じているのは、
【公務員】48.3%、【自由業】37.7%、【経営者】35.0%であった。

回答者:全員

N=7822

昨年の同じ時期と比べて、あなたご自身を含めた身近に感じる景気はいかがですか。(単一回答)

◆年代別(今年:2013年と2年前:2011年)の比較						身近に感じる景気		
						良くなった	悪くなった	
						今年(2013年)		
今年	20代以下(n=368)	8.7	47.3	11.1	7.1	25.0	9.5%	18.2%
	30代(n=1328)	9.2	47.2	12.4	11.8	17.4	11.2%	24.2%
	40代(n=2436)	8.0	48.0	13.8	15.2	13.4	9.6%	29.0%
	50代(n=2111)	10.1	46.8	14.8	17.6	9.0	11.8%	32.4%
	60代以上(n=1579)	10.8	45.2	18.9	13.3	10.6	12.0%	32.2%
2年前	20代以下(n=917)	6.3	32.7	23.0	14.3	21.8	8.2%	37.3%
	30代(n=2902)	5.0	32.5	27.1	21.7	12.8	5.9%	48.8%
	40代(n=3932)	5.2	29.1	27.7	27.4	9.9	5.9%	55.1%
	50代(n=2539)	4.1	25.7	30.0	31.9	7.6	4.8%	61.9%
	60代以上(n=1639)	2.6	25.4	32.7	25.1	13.8	3.0%	57.8%
◆職業別						身近に感じる景気		
						良くなった	悪くなった	
						今年(2013年)		
全体(n=7822)						11.0%	29.2%	
経営者(n=143)						24.5%	35.0%	
会社役員(n=126)						19.1%	27.0%	
会社員(正社員)(n=2422)						13.5%	27.3%	
契約社員・派遣社員(n=491)						11.0%	28.1%	
公務員(n=290)						5.8%	48.3%	
自営業(n=652)						8.7%	37.7%	
自由業(n=234)						15.4%	23.5%	
パート・アルバイト(n=888)						8.4%	25.2%	
専業主婦(主夫)(n=1261)						8.4%	29.3%	
学生(n=68)						10.3%	20.6%	
定年退職(n=468)						13.2%	29.0%	
無職(n=673)						6.3%	28.1%	

円安の影響は？『良い影響』6.2%、『悪い影響』22.8%

■「円安」の影響

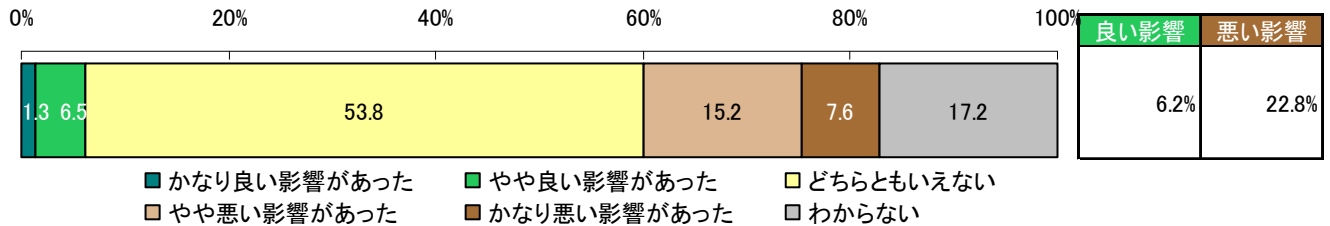
日常生活において昨年と同じ時期と比べての“円安の影響”について尋ねたところ、「かなり良い影響があった」1.3%、「やや良い影響があった」6.5%で、『良い影響』があった人の割合は6.2%と1割未満であった。

対して、「やや悪い影響があった」15.2%、「かなり悪い影響があった」7.6%と、『悪い影響』があった人の割合は22.8%と2割にのぼった。

回答者：全員

N=7822

お仕事や日常生活など、昨年と同じ時期と比べて、円安の影響はありましたか。(単一回答)



■ ネットリサーチのDIMSDRIVEについて ■

インターワイヤード株式会社が運営する『DIMSDRIVE』は、全国に18万人のモニターを擁し、インターネットリサーチを通じて調査企画・設計から分析・提案までを提供する、マーケティングのトータルソリューションサービスです。

広告効果測定やライフスタイル分析など、目的に応じた調査でお客様の戦略立案をサポートしています。

◆ DIMSDRIVEホームページ <http://www.dims.ne.jp/>

■ インターワイヤード株式会社について ■

<所在地> 東京都品川区東品川2-2-25 サンウッド品川天王洲タワー3F

<TEL> 03-5463-8255

<代表者> 斉藤 義弘

<事業内容> ネットマーケティングリサーチサービス「DIMSDRIVE」運営

● 調査結果に関するお問い合わせは ●

インターワイヤード株式会社 DIMSDRIVE事務局(ディムスドライブ事務局)

TEL: 03-5463-8256

Email: timely@dims.ne.jp